

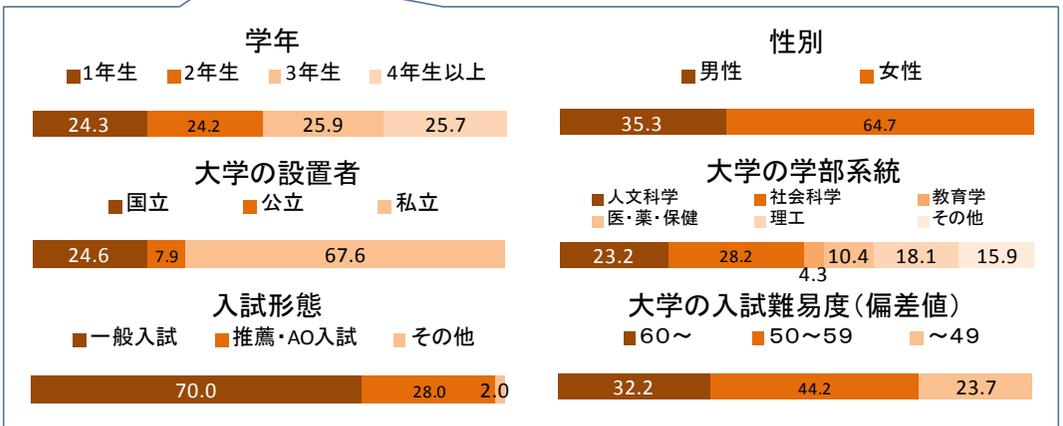
「大学生が振り返る大学受験調査」 データ集

調査概要

- 調査テーマ：
現役の大学生と専門学校生を対象に、高校生活や受験期の学習の様子などを振り返ってもらうことで、高校時代の学習・生活と、入試形態や入学大学のタイプ、受験を通しての成長感や大学での学びとの関係などを明らかにする。
- 調査対象：全国の大学生（短大生を含む）4,400人と専門学校生755人
※このうち、大学生（短大生・附属高校推薦による入学者を除く）4,101人を中心に分析。
- 調査時期：2012年8月
- 調査方法：インターネット調査

基本属性

大学生	短大生	専門学校生
4,101	137	755



※大学生・短大生に関しては、附属高校推薦入学者を除く学生を本分析の対象とした。

※「推薦・AO入試」とは、「指定校推薦」「公募制推薦・一般推薦」「AO入試」を指す。

※大学の入試難易度(偏差値)は進研模試の偏差値基準を用いている。ここでは、大学の入試難易度(偏差値)が判明した人(n=3875)のみを分析。

1 高校時代の学習時間

一般入試入学者と推薦・AO入試入学者の学習時間は、高3になると差が拡大。推薦・AO入学者の高3時の学習時間は、「1日1時間未満」が約半数。入試難易度（偏差値）が低いほど、その傾向が強まる。

Q あなたが高校生の頃、学校の授業以外で、週平均何日くらい勉強していましたか。
 (塾・予備校、家庭教師を含む)(単数回答)

Q あなたが高校生の頃、学校の授業以外で、勉強した日は1日平均で何時間くらい勉強していましたか。(塾・予備校、家庭教師を含む)(単数回答)

図1-1 1日あたりの学習時間(高1時)

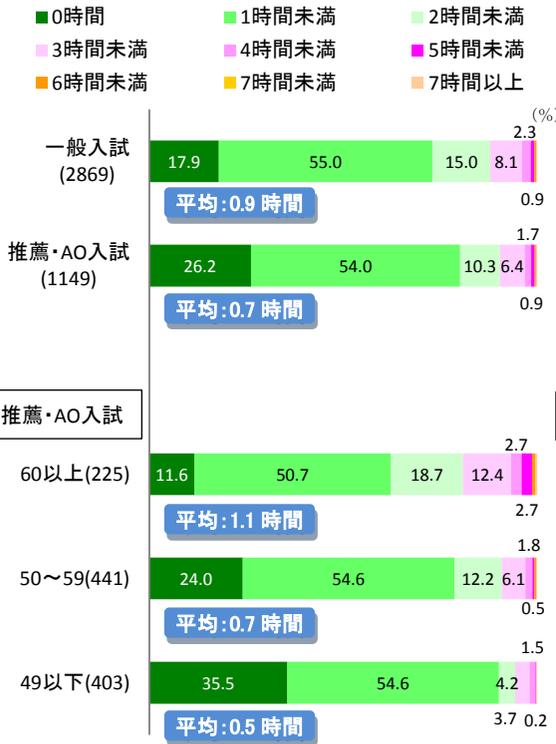
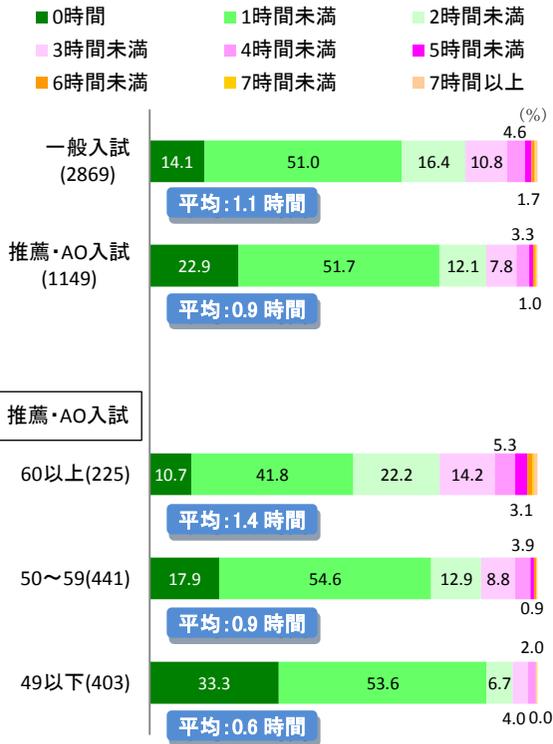


図1-2 1日あたりの学習時間(高2時)



※「1日あたりの学習時間」は、「週の平均的な学習日数」×「勉強する日の平均的な学習時間」÷7より算出した。
 ※平均時間は、「1時間未満」を「0.5時間」、「～2時間」を「1.5時間」などと置き換えて算出した。
 ※棒グラフの数値は、左より、「0時間」「1時間未満」「2時間未満」「3時間未満」「4時間未満」「5時間未満」の値を示している。

図1-3 1日あたりの学習時間(高3・4月)

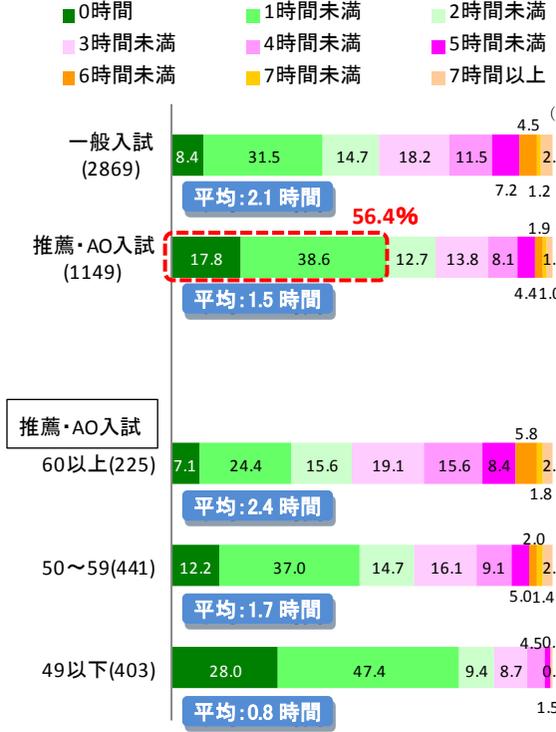


図1-4 1日あたりの学習時間(高3・9月)

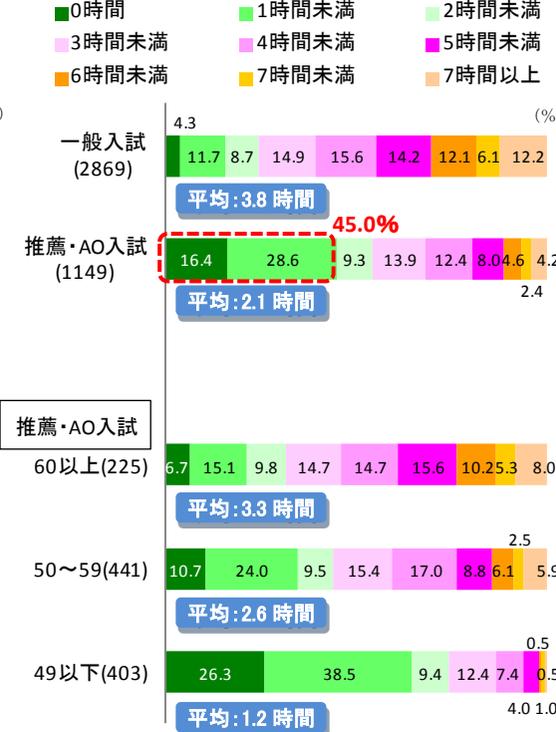
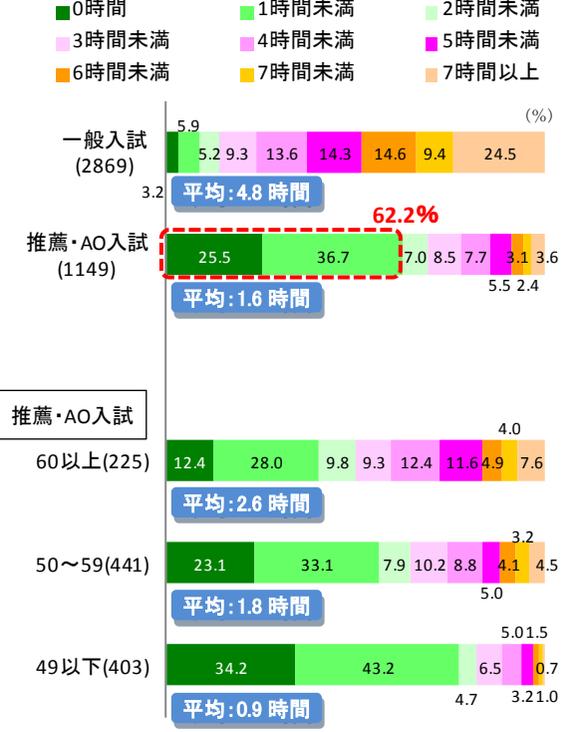


図1-5 1日あたりの学習時間(高3・12月)



※「1日あたりの学習時間」は、「週の平均的な学習日数」×「勉強する日の平均的な学習時間」÷7より算出した。
 ※平均時間は、「1時間未満」を「0.5時間」、「2時間未満」を「1.5時間」などと置き換えて算出した。
 ※推薦・AO入試入学者の約8割が、高3・12月の時点で合格が決定している。

2 受験対策の内容

推薦・AO入試入学者の5人に1人（2割）が「受験対策をしなかった」。入試難易度（偏差値）が低いほどその比率は高まり、偏差値49以下では3割にせまる。

Q あなたが受験対策を始めた時期は、いつですか。（単数回答）

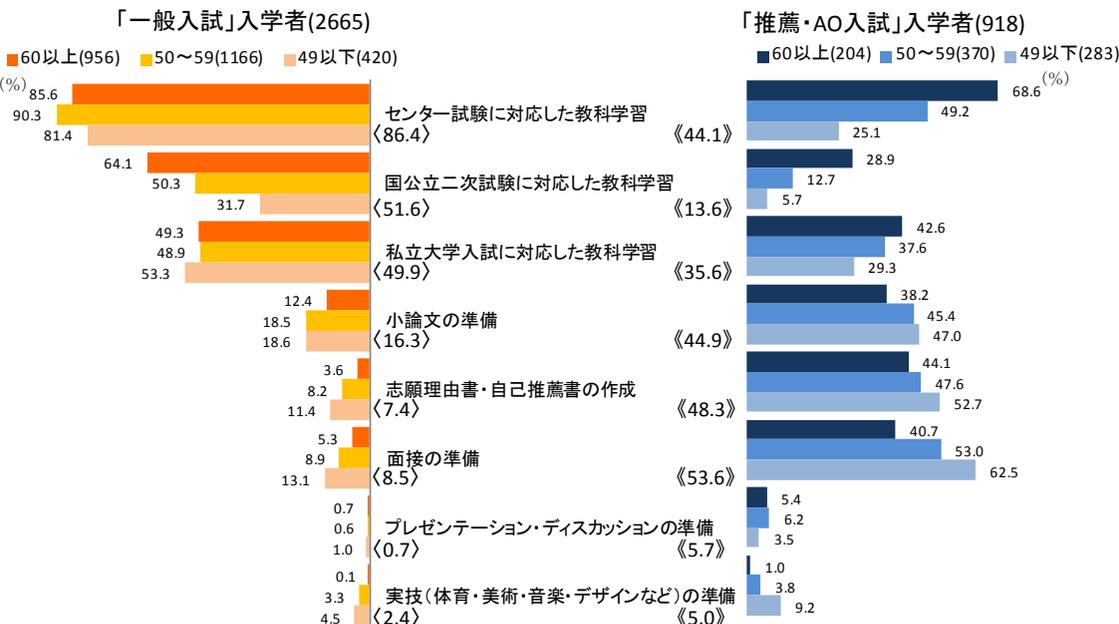
図2-1 「受験対策をしなかった」人の比率（入試形態別、推薦・AO入試の入試難易度〔偏差値〕別）



※「受験対策」とは、「一般入試の教科学習、推薦・AO入試のための小論文や面接などの準備」を指す。
 ※受験対策を始めた時期について、「特になかった・覚えていない・受験対策をしなかった」と回答した比率。

Q 受験対策を始めた時期以降、受験対策として何を勉強しましたか。（複数回答）

図2-2 受験対策として勉強したこと（入試形態別、入試形態×入試難易度〔偏差値〕別）

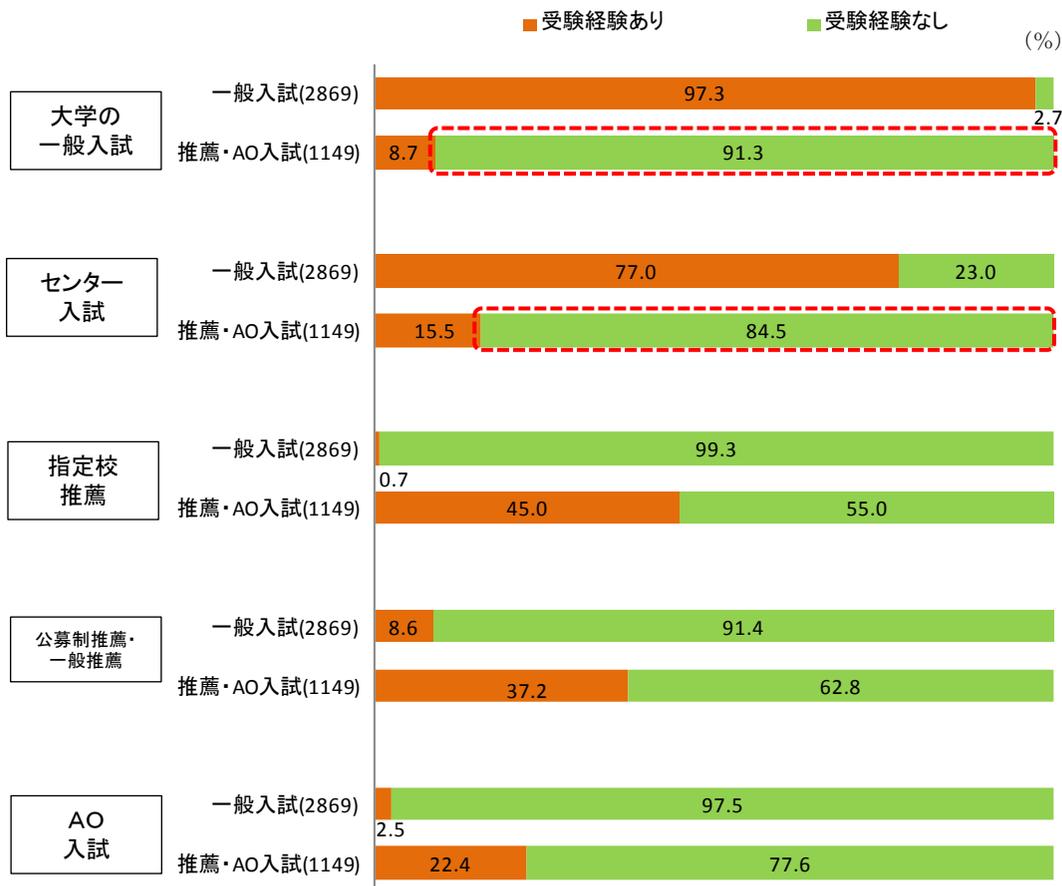


3 経験した入試方法

推薦・AO入試入学者の約9割が、大学の一般入試を経験しないまま大学へ進学している。センター試験については、推薦・AO入試入学者の8割強が未経験。

Q あなたは大学・専門学校受験でどのような入試方法を経験しましたか。
受験したすべての大学・専門学校についてお答えください。(複数回答)

図3-1 経験した入試方法(入試形態別)



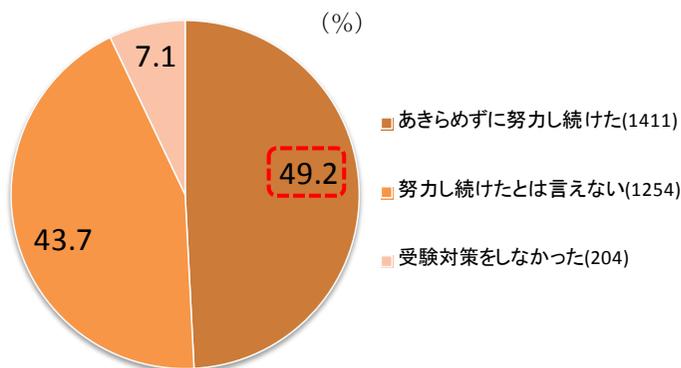
4 「あきらめずに努力し続けた」人の比率

受験対策を振り返って「あきらめずに努力し続けた」と回答した比率は、一般入試入学者で約5割、推薦・AO入試入学者で4割弱。「努力し続けたとは言えない」層は、入試形態によらず4割強となっている。

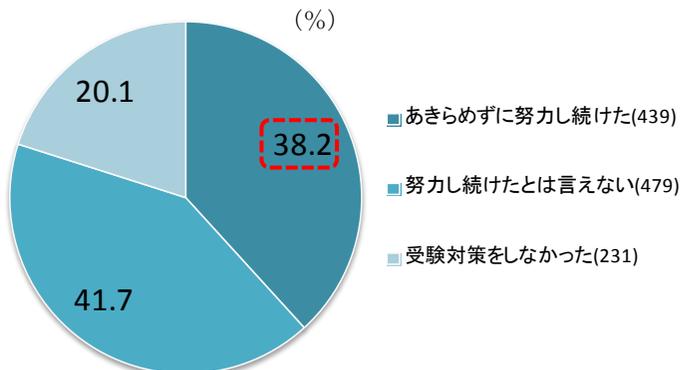
Q 大学受験を終え、受験対策を振り返り、以下の項目についてどのように思いますか。
(単数回答)

図4-1 「長い期間あきらめずに努力し続けることができた」(入試形態別)

「一般入試」入学者(2869)



「推薦・AO入試」入学者(1149)



※学生に受験期を振り返ってもらい、受験対策を「長い期間あきらめずに努力し続けることができた」かどうかをたずねた設問で、「とてもあてはまる」「まああてはまる」と回答した学生を「あきらめずに努力し続けた」層、「どちらともいえない」「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」と回答した層を「努力し続けたとは言えない」層として集計した。

※「受験対策をしなかった」層については、p4を参照。

5 努力し続けた人の高校時代の学習時間

「あきらめずに努力し続けた」人の学習時間は、高2の頃から徐々に増加。高3・9月には、1日の学習時間が3～4時間となる。

Q あなたが高校生の頃、学校の授業以外で、週平均何日くらい勉強していましたか。
(塾・予備校、家庭教師を含む)(単数回答)

Q あなたが高校生の頃、学校の授業以外で、勉強した日は1日平均で何時間くらい勉強していましたか。(塾・予備校、家庭教師を含む)(単数回答)

図5-1 1日あたりの学習時間(高1)

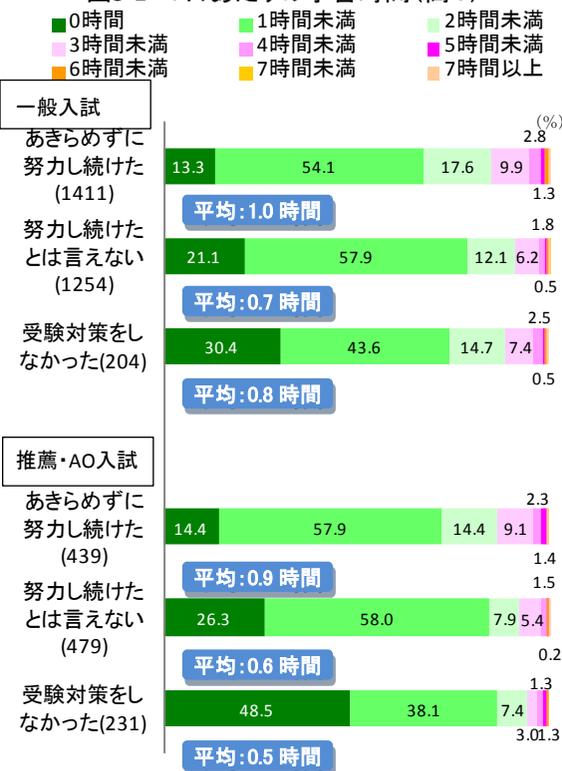


図5-2 1日あたりの学習時間(高2)



※「1日あたりの学習時間」は、「週の平均的な学習日数」×「勉強する日の平均的な学習時間」÷7より算出した。

※平均時間は、「1時間未満」を「0.5時間」、「～2時間」を「1.5時間」などと置き換えて算出した。

※「あきらめずに努力し続けた」「努力し続けたとは言えない」「受験対策をしなかった」についてはp6を参照。

※棒グラフの数値は、左より、「0時間」「1時間未満」「2時間未満」「3時間未満」「4時間未満」「5時間未満」の値を示している。

図5-3 1日あたりの学習時間(高3・4月)

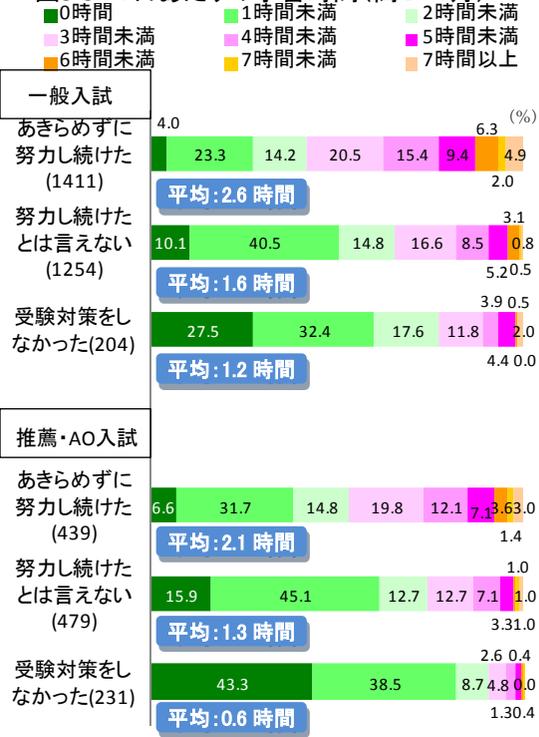


図5-4 1日あたりの学習時間(高3・9月)

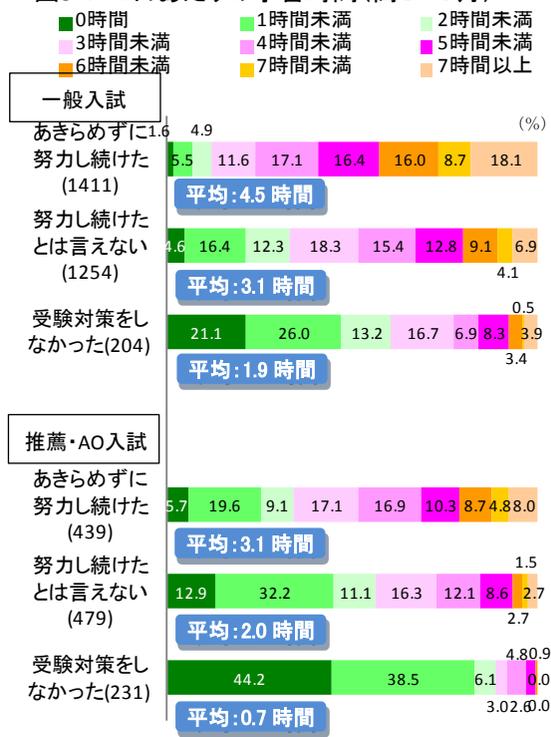
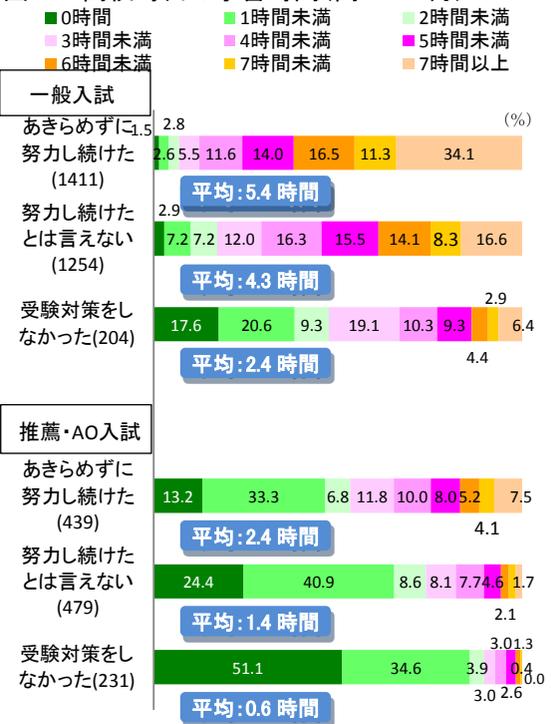


図5-5 高校時代の学習時間(高3・12月)



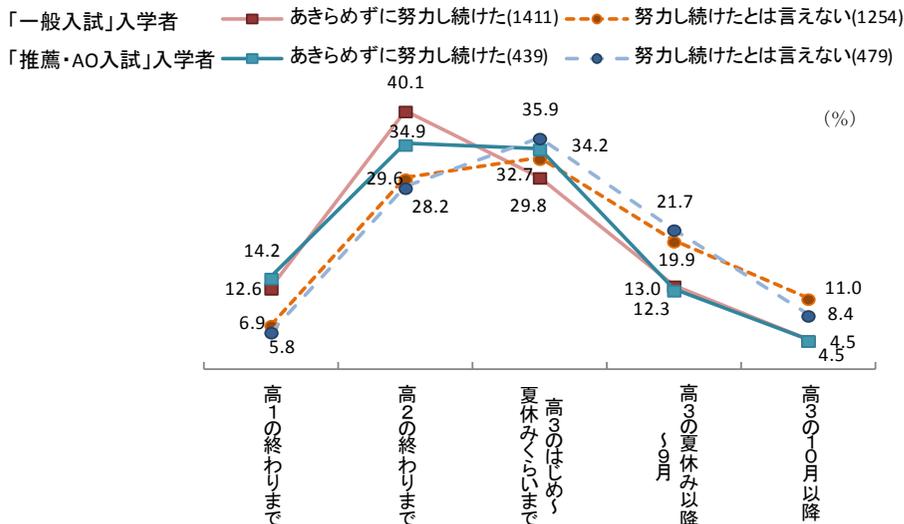
※「1日あたりの学習時間」は、「週の平均的な学習日数」×「勉強する日の平均的な学習時間」÷7より算出した。
 ※平均時間は、「1時間未満」を「0.5時間」、「～2時間」を「1.5時間」などと置き換えて算出した。
 ※「あきらめずに努力し続けた」「努力し続けたとは言えない」「受験対策をしなかった」についてはp6を参照。
 ※推薦・AO入試入学者の約8割が、高3・12月の時点で合格が決定している。

6 努力し続けた人の受験対策の開始時期、受験校

「あきらめずに努力し続けた」人ほど受験対策の開始時期が早く、高2までに約半数が始めている。また努力し続けた人の約8割は、最初に決めた志望校のレベルか、それ以上のレベルの大学を受験。

Q あなたが受験対策を始めた時期は、いつですか。(単数回答)

図6-1 受験対策の開始時期(入試形態別×受験に対する態度別)

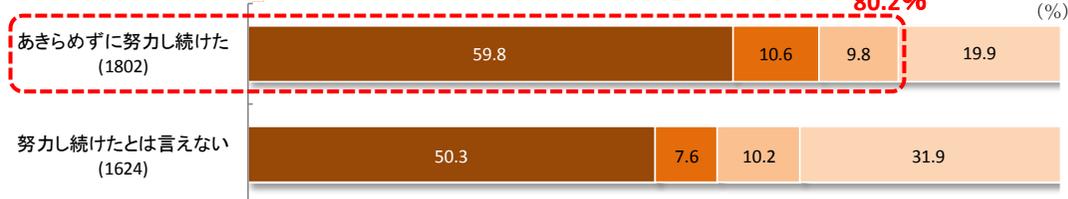


※「あきらめずに努力し続けた」「努力し続けたとは言えない」についてはp6を参照。

Q 1番最初に決定した志望校と実際に受験した大学のうち第1志望の大学を比較して、最もあてはまるものを1つお答えください。(単数回答)

図6-2 1番最初に決定した志望校と受験校の比較(受験に対する)

- 1番最初に決定した志望校を受験した
- 1番最初に決定した志望校より学力レベル・難易度を上げて、受験した
- 1番最初に決定した志望校より学力レベル・難易度はそれほどかわらないが、別の大学を受験した
- 1番最初に決定した志望校より学力レベル・難易度を下げて、受験した



※「受験対策をした」人のうち、「一般入試」「推薦・AO入試」入学者 (n=3583) のみを分析。

※「1番最初に自分が行きたい大学・専門学校を決定した時期」を「覚えていない」、「1番最初に決定した志望校」が「専門学校だった」人を除く。

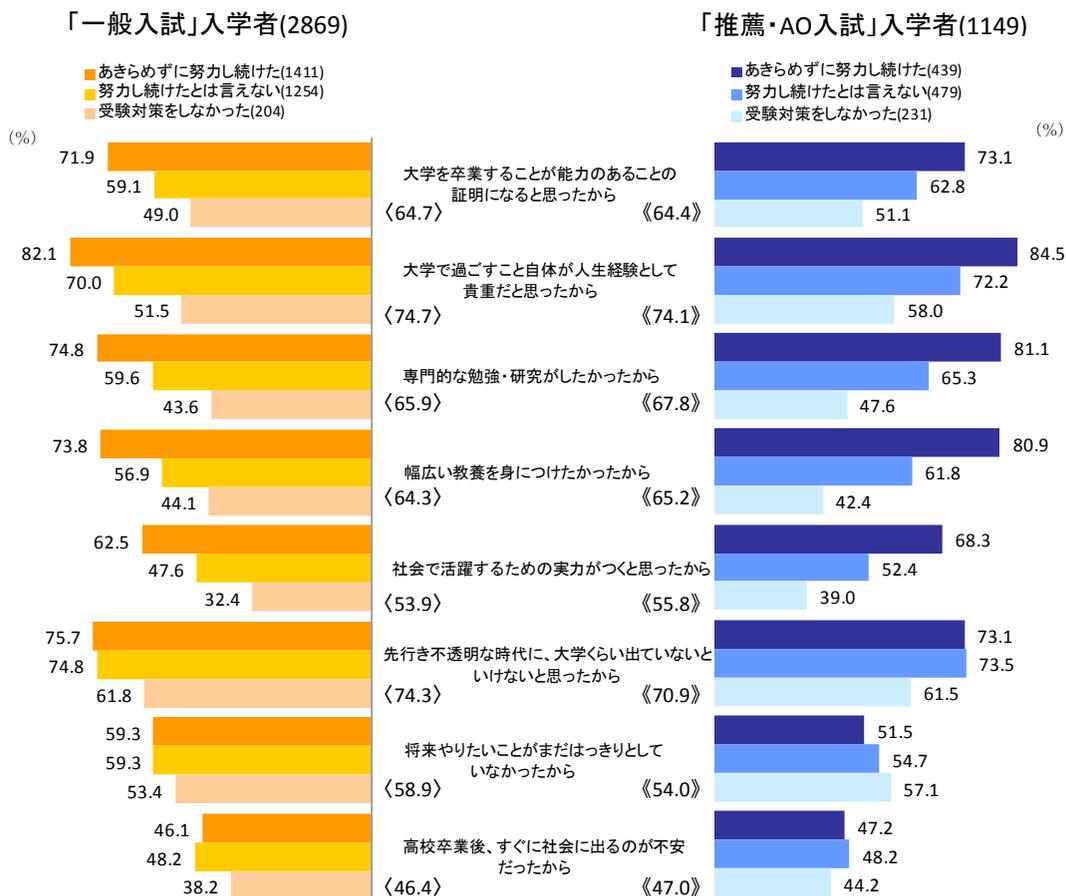
※「あきらめずに努力し続けた」「努力し続けたとは言えない」についてはp6を参照。

7 努力し続けた人の大学への進学理由

「あきらめずに努力し続けた」人ほど、「大学で過ごすこと自体が貴重な人生経験」「専門的な勉強・研究がしたい」「教養を身につけたい」。

Q あなたが現在通っている大学へ進学した理由は何ですか。
(それぞれ単数回答)

図7-1 大学への進学理由(入試形態別、入試形態×受験に対する態度別)



※「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。

※〈 〉内は「一般入試」入学者の全体値、《 》内は「推薦・AO入試」入学者の全体値を示している。

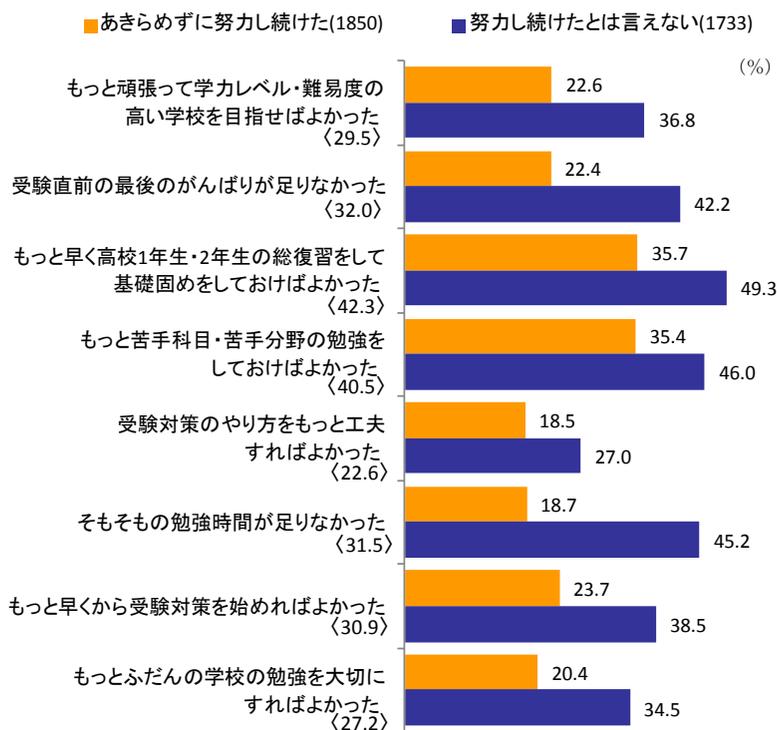
※「あきらめずに努力し続けた」「努力し続けたとは言えない」「受験対策をしなかった」についてはp6を参照。

8 努力し続けられなかった人の後悔

「努力し続けられなかった」人ほど、受験を振り返っての後悔が多い。半数近くが「基礎固め」「苦手克服」をしておけばよかったと後悔。

Q 大学受験を終え、受験対策を振り返り、後悔していることはどんなことですか。(複数回答)

図8-1 受験対策を振り返って後悔していること(受験に対する態度別)



※「受験対策をした」人のうち、「一般入試」「推薦・AO入試」入学者(n=3583)のみを分析。

※〈 〉内は全体値を示している。

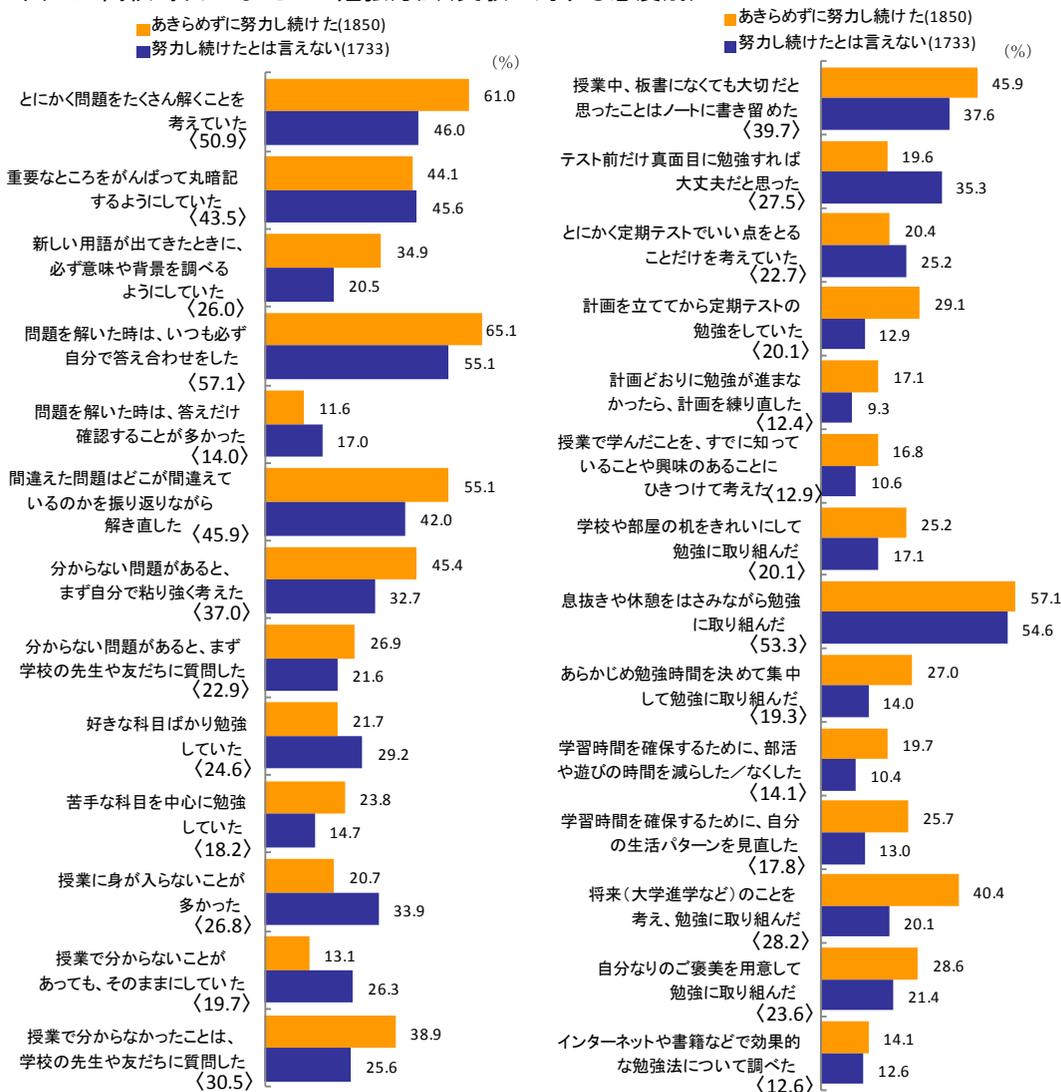
※「あきらめずに努力し続けた」「努力し続けたとは言えない」についてはp6を参照。

9 努力し続けた人のふだんの勉強方法と受験対策

「あきらめずに努力し続けた」人ほど、「必ず自分で答え合わせをした」。受験対策としては、「基礎固め」や「苦手克服」などに注力している。

Q あなたが高校生の頃、勉強について以下のようなことがどれくらいあてはまりましたか。
(複数回答)

図9-1 高校時代のふだんの勉強方法(受験に対する態度別)



※「一般入試」「推薦・AO入試」入学者(n=4018)のみを分析。

※()内は全体値(「受験対策をしなかった」人を含める)を示している。

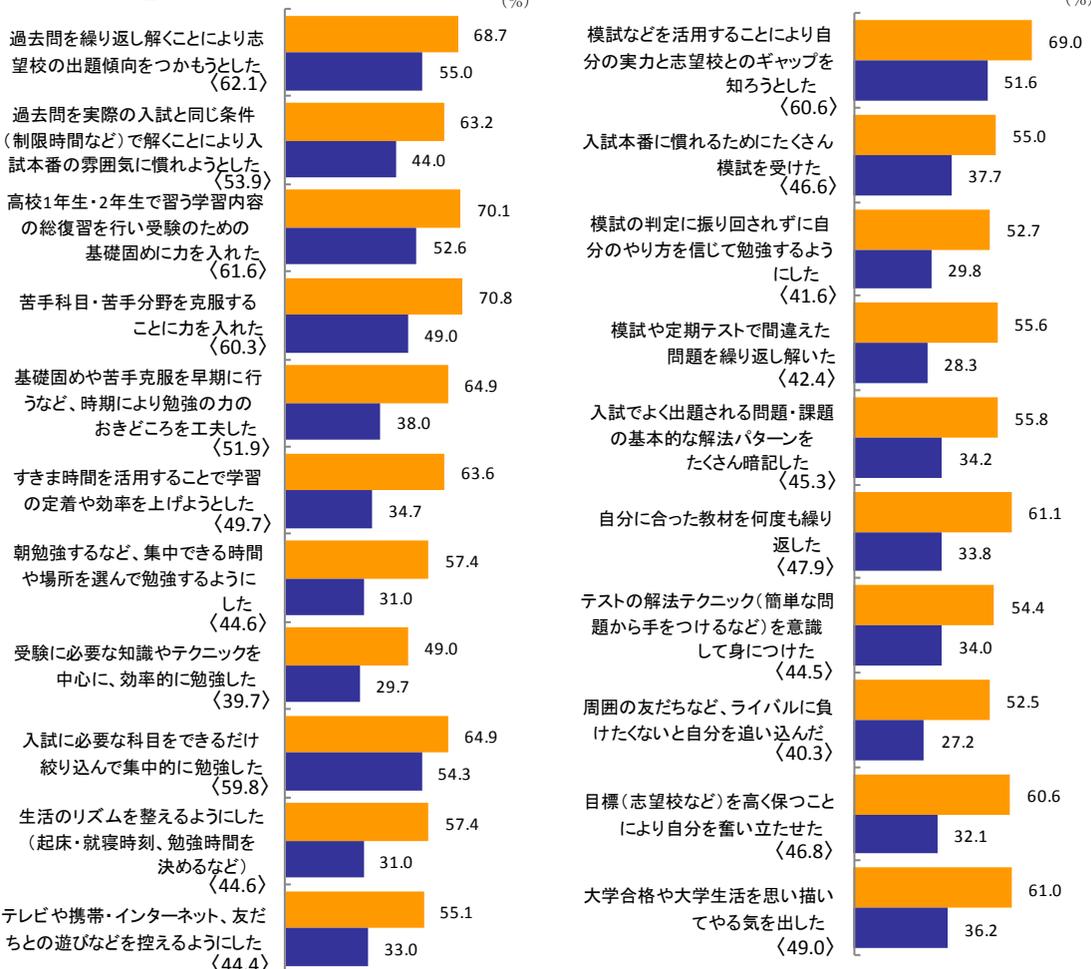
※「あきらめずに努力し続けた」「努力し続けたとは言えない」についてはp6を参照。

Q 受験対策を始めた時期以降の受験対策について、以下の項目はどれくらいあてはまりましたか。(それぞれ単数回答)

図9-2 受験対策の方法

あきらめずに努力し続けた(1850)
努力し続けたとは言えない(1733)

あきらめずに努力し続けた(1850)
努力し続けたとは言えない(1733)



※「受験対策をした」人のうち、「一般入試」「推薦・AO入試」入学者(n=3583)のみを分析。

※「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。

※〈 〉内は全体値を示している。

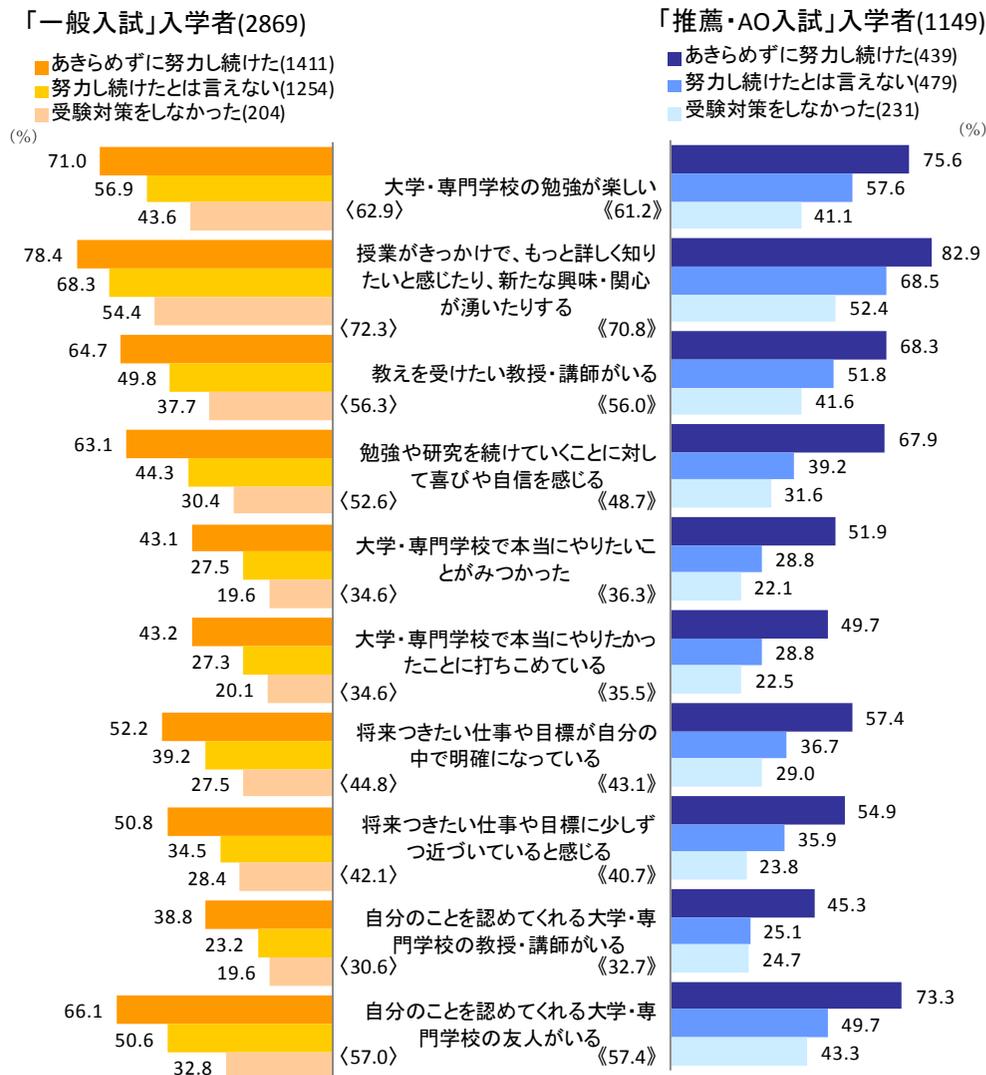
※「あきらめずに努力し続けた」「努力し続けたとは言えない」についてはp6を参照。

10 大学生活について思うこと

入試形態によらず、「あきらめずに努力し続けた」人ほど大学生活への満足、意欲が高い。特に、努力し続けた推薦・AO入学者で高くなっている。

Q あなたの大学・専門学校生活について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。(単数回答)

図10-1 大学生活について思うこと (入試形態別、入試形態×受験に対する態度別)



※「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。

※〈 〉内は「一般入試」入学者の全体値、《 》内は「推薦・AO入試」入学者の全体値を示している。

※「あきらめずに努力し続けた」「努力し続けたとは言えない」「受験対策をしなかった」についてはp6を参照。

11 大学入学後(1年生時)の学習時間①

大学から出された課題・レポートにあてる時間は、平均週4時間前後にとどまる。また、4割の学生が自主的な学習にあてる時間は週ゼロ時間。

Q あなたは大学1年生の頃、以下の勉強を1週間に平均して何時間くらい行っていましたか。
 ※現在大学1年生の方は、現在のことについてお答えください。(単数回答)

図11-1 1週間あたりの学習時間

図11-2 1週間あたりの学習時間

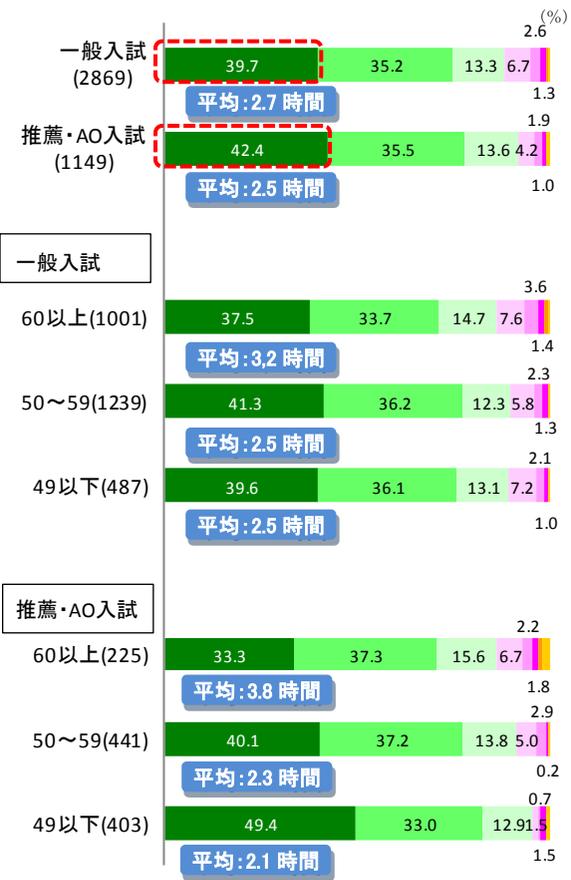
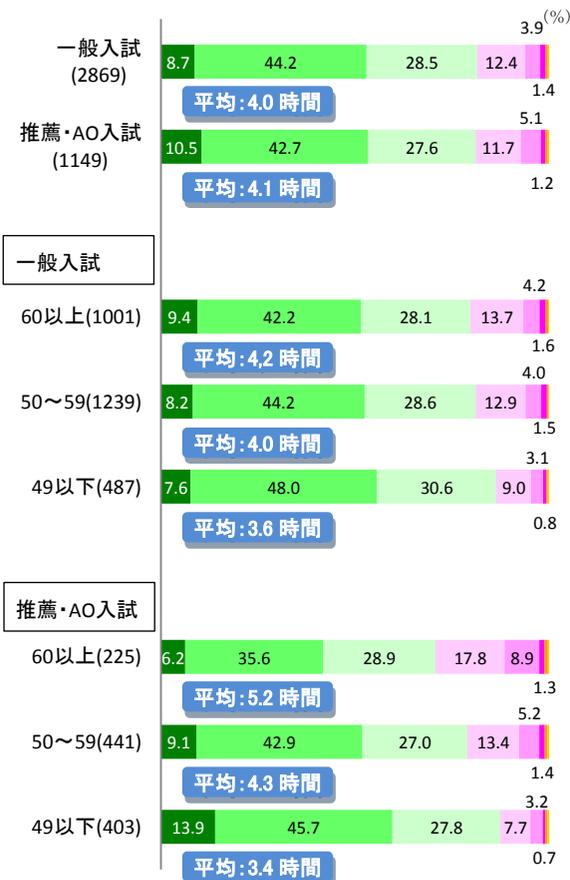
「学校から出された課題、レポート」

「自主的な学習」

(入試形態別、入試形態×入試難易度[偏差値]別)(入試形態別、入試形態×入試難易度[偏差値]別)

- ほとんどしていない
- 3時間未満
- ~5時間くらい
- ~10時間くらい
- ~20時間くらい
- ~30時間くらい
- ~40時間くらい
- それ以上

- ほとんどしていない
- 3時間未満
- ~5時間くらい
- ~10時間くらい
- ~20時間くらい
- ~30時間くらい
- ~40時間くらい
- それ以上



※平均時間は、「ほとんどしていない」を「0時間」、「3時間未満」を「1.5時間」などと置き換えて算出した。

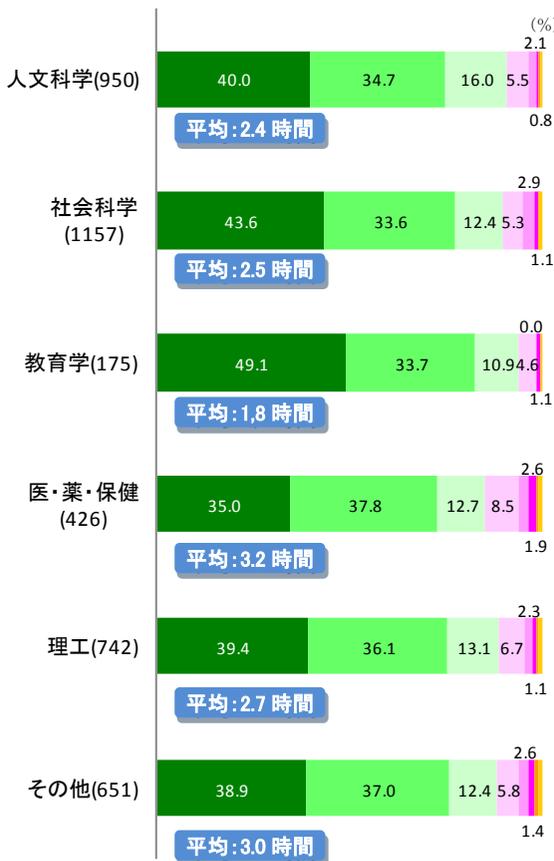
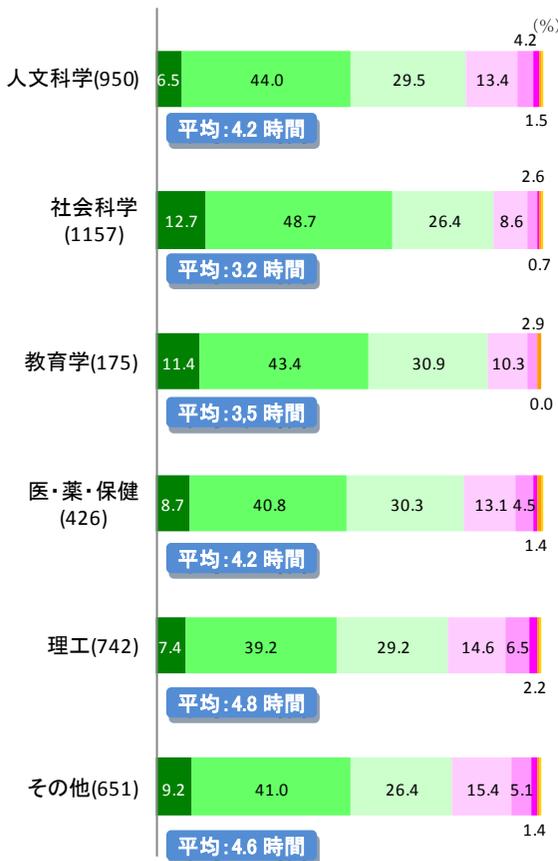
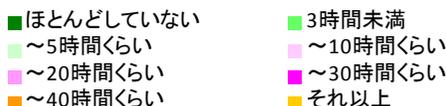
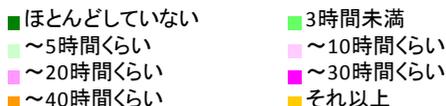
※棒グラフの数値は、左から、「ほとんどしていない」「3時間未満」「~5時間くらい」「~10時間くらい」「~20時間くらい」「~30時間くらい」の値を示している。

大学入学後(1年生時)の学習時間②

全般的に、文系よりも理系の学習時間が長い傾向。
それでも、課題・レポートのための学習は週3～4時間、自主的な学習は週2～3時間程度。

図11-3 1週間あたりの学習時間
「学校から出された課題、レポート」
(大学の学部系統別)

図11-4 1週間あたりの学習時間
「自主的な学習時間」
(大学の学部系統別)



※平均時間は、「ほとんどしていない」を「0時間」、「3時間未満」を「1.5時間」などと置き換えて算出した。

※棒グラフの数値は、左から、「ほとんどしていない」「3時間未満」「~5時間くらい」「~10時間くらい」「~20時間くらい」「~30時間くらい」の値を示している。

12 大学入学後(1年生時)の授業の理解度

入試形態によらず、7割前後の学生が大学1年時の「授業を理解できている(できていた)」。
 全般的に、理系よりも文系の理解度が高い傾向。

Q あなたは大学1年生の頃、学校の授業・勉強をどの程度理解していましたか。(単数回答)
 ※現在大学1年生の方は、現在のことについてお答えください。
 ※専門科目・分野についてお答えください。一般教養が中心の授業であっても、より自分の専門に近い科目・分野についてお答えください。

図12-1 大学の授業の理解度

(入試形態別、入試形態×入試難易度[偏差値]別)

- しっかり理解できていた(できている)
- まあ理解できていた(できている)
- どちらともいえない
- あまり理解できていなかった(できていない)
- まったく理解できていなかった(できていない)

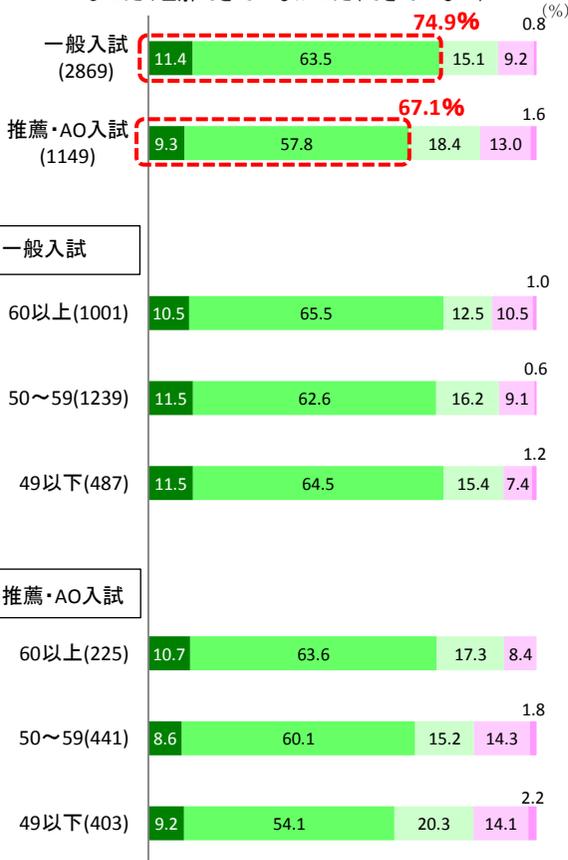
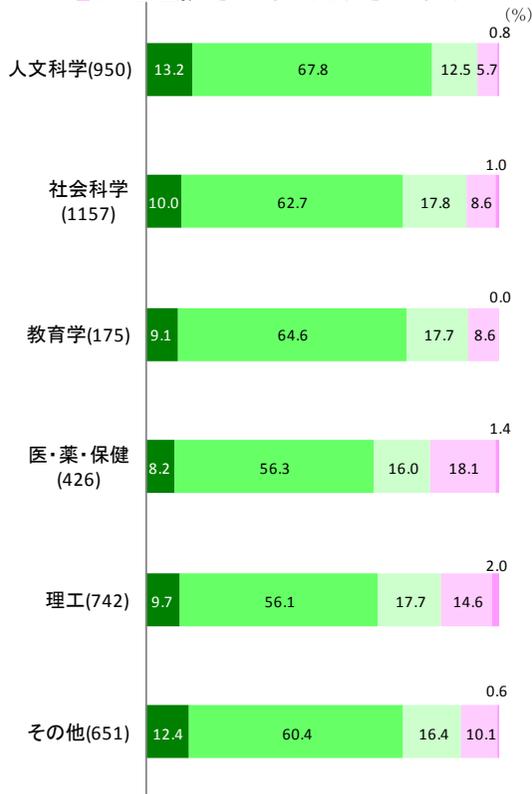


図12-2 大学の授業の理解度

(大学の学部系統別)

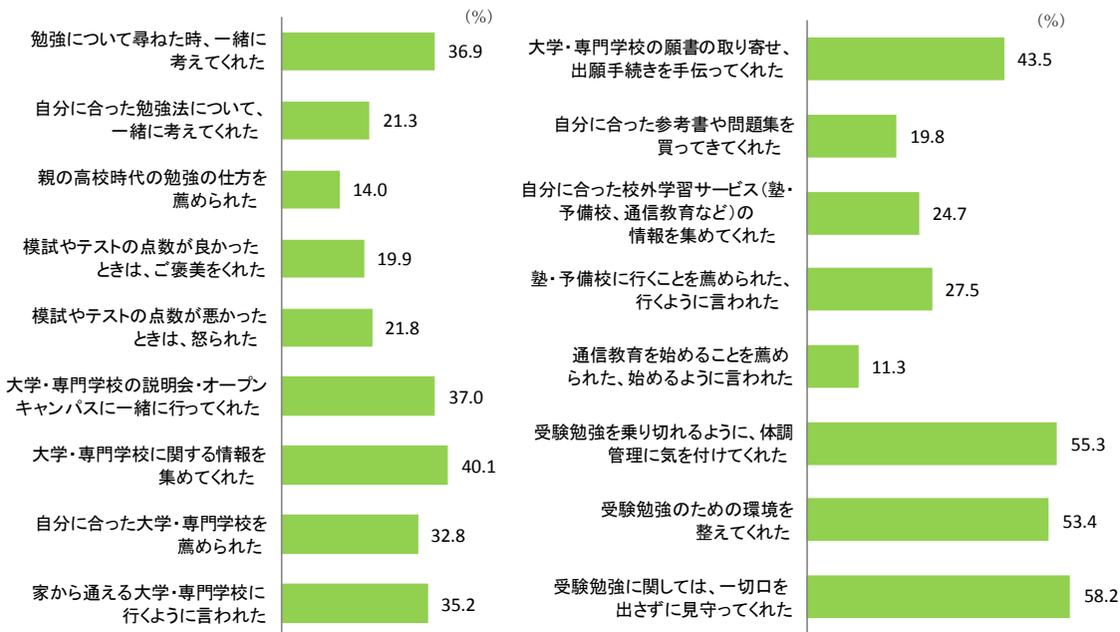
- しっかり理解できていた(できている)
- まあ理解できていた(できている)
- どちらともいえない
- あまり理解できていなかった(できていない)
- まったく理解できていなかった(できていない)



6割近くの親は「一切口を出さずに見守ってくれた」。一方で、約4割の親が「大学・専門学校に関する情報を集めてくれた」「願書の取り寄せ、出願手続きを手伝ってくれた」。

Q 受験対策を始めた時期以降の、あなたと親とのかかわりについて、以下の項目はどの程度あてはまりましたか。(それぞれ単数回答)

図13-1 受験対策時期の親とのかかわり



※「受験対策をした」人(n=3639)のみを分析。
 ※「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。

14 専門学校生の学校生活

約8割の専門学校生が「専門的な勉強・研究がしたかった」から専門学校へ進学したと回答。

7割前後が「勉強が楽しい」「授業がきっかけで、もっと詳しく知りたい、新たな興味・関心が湧く」。

Q あなたが現在通っている大学・専門学校へ進学した理由は何ですか。(複数回答)

Q あなたの大学・専門学校生活について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。(それぞれ単数回答)

図14-1 大学・専門学校への進学理由

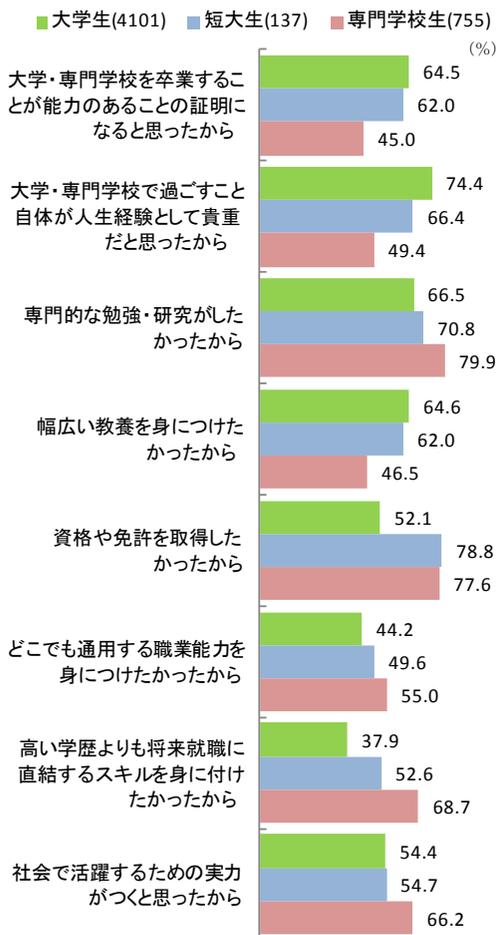
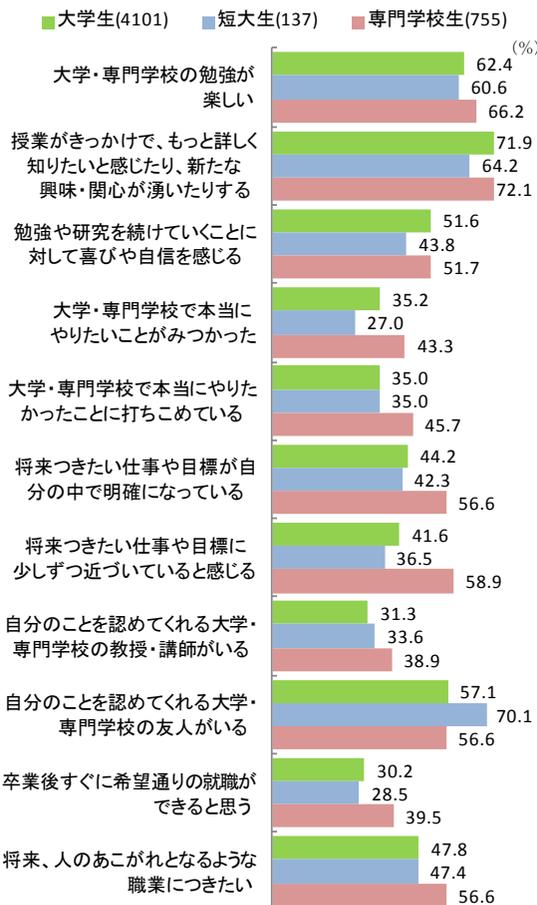


図14-2 大学・専門学校生活について思うこと



※「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。

「大学生が振り返る大学受験調査」 データ集

●調査企画・分析メンバー

樋口 健 Benesse教育研究開発センター 主任研究員

岡部 悟志 Benesse教育研究開発センター 研究員

※所属・役職名は調査企画・分析時のものです。

Benesse教育研究開発センターのWEBサイトのご案内

Benesse教育研究開発センターで実施している各種調査の結果は、すべて以下のWEBサイトでご覧いただけます。

<http://benesse.jp/berd/>

こちらのサイトは

ベネッセ 研究

検索

で検索できます。



《お問い合わせ先》

本調査に関するご意見やご感想、引用等に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

〒206-8686 東京都多摩市落合1-34

Benesse教育研究開発センター「大学生が振り返る大学受験調査」係

TEL: 042-311-3390(10:00～17:00、土日・祝日を除く)